

に発表された300シリーズにより、世界的にシェアを拡大した。1998年にはコーブランドやQ LNなどの北欧ブランドを傘下に置くXENON AUDIO所属のエンジニアであるラース・ペデルセン氏が同社に参加。創業当時から同社を牽引してきたB・ニールセン氏の方りのノウハウを融合し、現在まで続く30、20シリーズが生まれた。

ブラッシュアップされたDクラスアンプと高剛性のCDプレーヤー

そんな同社カタログに新たに加わったのは、同ブランドの国内販売体制が整った2011年に発表されビッグヒットした一体型アンプI32の後継機であるI35とCD再生専用機CD32の後継機のCD35だ。I35は2008年に発表された一体型AVアンプSPA22で初採用された、超高速D級アンプ回路UFPD (Ultra Fast Power Device) の最新バージョンUFPD2を搭載しているのが特徴だ。

Dクラスアンプのデメリットは歪み発生の一要因である出力部のフィルターを、適切なフィードバックによって制御できず、スピーカーのインピーダンス変化によって音質に悪影響を及ぼす点だ。しかしUFPDはそれを解消し、パルス出力の歪みを排除すると共に安定した出力を得ていた。UFPD2ではさらに進化させ、ゲイン対周波数曲線に影響しない増幅回路を開発、さらに帯域幅の制限を排除した。その結果位相の乱れを僅少としクローズドループ帯域幅を拡張し、2次フィルターエライアンプに特注品の出力コイルを使用することでループゲインを一定に保ち、オーディオ帯域全体でのフ



I35のリアパネル

CD35のリアパネル

イドバック制御を可能にしたという。CD35は、高評価のCD32以上の性能を目指し開発された。CDドライブはTEAC製CD5020 A・ATを採用、筐体からの振動を遮断するマウント方法で正確な信号読み取りを可能にした。

筐体はステイルプレートをプレス加工で折り曲げたシャーシと十分な厚みを確保したフロントパネルで構成されるが、武骨さのない洗練されたデザインなのが北欧製らしい。本機は高剛性を図り、内外の共振や振動を適切に排除しているが、このシャーシと前述のメカニズムのマウント方式が相俟って、高い制振性能が確保されていることになる。また内部インターフェースのI2SやSPDIFは、一度メモリーにバッファリングすることも、高音質化に寄与している。

自然な響きの美しさに加え一層高まった奥の深さと透明度

両機は従来からの同ブランド製品に共通する色づけなどを感じさせない自然な響きを実現している。従来機に比べ確実に鮮度が高まり、SN比も向上しピアノの余韻も透明度が

高く深みと美しさが感じられる。オーケストラも音場の透明度が高く、広がりを感じられ、弱音部の繊細感が正確に表現される。弦楽器の響きに優美さがあるのが、北欧生まれらしい。

『ジュビレーション』はDSD方式の一発録音らしい情報量の高い再生音で、細部を高精彩に描き出していく。フロントラインの2本のトロンボーンの音色の温度感の違いも正確に再現された。

『レヴェランス』では超低域成分をハイレベルで記録した低音楽器のアタック音がスムーズに立ち上がり、音像の輪郭を曖昧にすることなく正確に制動するなど、本機よりも高価な欧米ハイエンド機に負けないポテンシャルを有する製品であることが確認できた。

文・小林 貢 Mitsugu Kobayashi Photo ● Y.Kawamura

高額なハイエンド機に匹敵するクオリティと北欧製らしい透明なサウンド

相変わらずのデザインコンシャスなスタイルに最新のアンプテクノロジーとCD高音質再生技術を融合させた

プライマー
I35 プリ・メインアンプ ¥480,000 CD35 CDプレーヤー ¥385,000



北欧らしい温かみと精巧感が調和したデザインだ

S P E C

[I35]
出力 ● 150W+150W (8Ω) / 300W+300W (4Ω)
周波数特性 ● 20Hz~20kHz-0.2dB SN比 ● 100dB
THD+N ● <0.01%、20Hz-20kHz、10W at 8Ω
入力 ● バランスXLR×2/アンバランスRCA×3
入力インピーダンス ● XLR30kΩ/RCA15kΩ
出力 ● ラインアウトRCA/プリアウトRCA
外形寸法 ● 430W×106H×382Dmm 重量 ● 10.5kg
付属品 ● C25リモートコントロール

[CD35]
CDメカニズム ● TEAC CD5020A-AT
DAコンバーター ● ESS Sabre ES9028PRO
周波数特性 ● 20Hz~20kHz-0.3dB
SN比 ● -110dB/AES17
THD+N ● <0.01%、20Hz-20kHz
アナログ出力 ● バランスXLR (4.4Vrms)/アンバランスRCA (2.2Vrms)
デジタル出力 ● COAX/TOS-LINK
外形寸法 ● 430W×106H×385Dmm 重量 ● 10.6kg
問い合わせ先 ● 株式会社ナベック Tel.058-215-7510

同社の前身は、デンマークの工業デザイナーでオーディオクリエーターである、ボ・クリステンセン氏が1980年代初頭に立ち上げたブランドであった。後に彼は才能のあるエンジニア、ベント・ニールセン氏を含むデザイナーらと共にPrimare Systems ABと称する技術集団を形成した。そして1985年にスウェーデンに同社を設立、その翌年にシンブルな構成の高性能セパレートアンプ928シリーズを発表し、オーディオ界に新風を吹き込んだ。

1992年に発表された革新的デザインの200シリーズも高い評価を獲得。ボ・クリステンセン氏が同社を辞する前に開発し、1994年

試聴ソフト

- ▶ 『メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第2番他』
キア・ロススクー四重奏団 / キングインターナショナル / KKC-5609
- ▶ 『ブルックナー：交響曲第4番 (ロマンティック)』
佐渡裕指揮、トーン・キョストラ管弦楽団 /
エイベックス・ミュージック・クリエティヴ / AVCL-25912
- ▶ 『Jubilation』
八城邦義プロジェクト〜フィーチャリング2トロンボーンズ /
ウッドクリーク / CD-1008
- ▶ 『Smile』ウィリアム・シルク / ウッドクリーク / CD-1009
- ▶ 『REVERENCE (レヴェランス)』Nathan East /
YAMAHAミュージックコミュニケーションズ /
YCCW-10295